

授業科目	臨床実習 3	3 学年・後期・2 単位 (90 時間)	
		作業	必修

科目担当責任者	太田久晶 (保健医療学研究棟 E512 号) e-mail : hisoh@sapmed. ac. jp	非常勤講師 連絡担当教員	
担当教員	齊藤秀和、作業療法学科教員		
概要	身体障害、精神障害、発達障害、高齢期いずれかの病院、施設の作業療法部門において、評価を主体とした実習を行う。学生は各専門領域の講義で学んだ疾病や障害のメカニズムおよび評価法に関する基本的知識を基に、評価計画の立案、評価の実施、結果の統合と解釈を実際に経験する。さらに、サマリーシート等の作成、実習セミナーにおける発表と質疑応答を通して実習経験を共有するとともに作業療法評価に関する理解を深める。		
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 対象者の状況に合った情報収集や検査、測定を計画的に立案し実施できる。 2. 対象者の社会的背景や、病院、施設での他部門との関わり方およびチームアプローチに留意できる。 3. 評価結果と分析内容を明瞭に記録することができる。 4. 評価結果を統合、解釈して対象者のニーズや問題点を焦点化できる。 5. 作業療法の短期および長期目標を設定することができる。 6. 作業療法に求められる役割やニーズを理解することができる。 		
評価	実習の実施状況を 70% とし、サマリーシート等の発表資料の内容および口頭による報告内容を 30% とする。それぞれの評価結果を合計して本科目の評定を行う。		
履修上の留意点	事前にオリエンテーションを行うので必ず出席すること。 原則として、遅刻、欠席、早退は認められない。正当事由によりやむを得ない場合は必ず実習先および大学へ連絡をすること。		

内 容 ・ 方 法	
実習方法	<p>学生は実習施設において実習指導者の指導の下、個々に以下の実習を行う。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 担当症例の疾患や障害状況の把握に必要な情報収集や検査測定の方法と手順に関する評価計画を立案する。 2. 評価計画に沿って情報収集、検査測定、観察評価を実施する。 3. 収集したデータを統合、解釈し、障害の要因や構造を理解する。 4. 作業療法で対応すべき対象者のニーズを把握した上で、総合的な視点から利点・問題点を抽出、整理し、治療目標を検討する。
実習期間	9 月下旬から 10 月上旬の 2 週間(予定)
実習場所	札幌医科大学附属病院、定山溪病院、旭山病院、小樽病院重症心身障がい児(者)施設みどりの里、他
実習時間	9 時から 17 時までとする。ただし、実習場所に応じて変更がある。
実習内容	<p>上記実習方法に基づき実習を遂行し、課題として以下を実施する。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. デイリーノートの作成。 2. 担当事例に関する報告書(ケースノート、サマリーシート)の作成。 3. サマリーシート等の作成および報告会での発表(各領域の専門科目における症例検討を含む)。